

現代社会学科

社会の課題を解決に導く能力を身につける

社会学をはじめ、経営・経済・政治・メディアなど幅広い分野を学び、社会的課題を解決する力を養います。1年次は、少人数クラスでレポート作成やプレゼンテーション、ディスカッションの基礎を習得。2・3年次にはフィールドワークで実践力を身につけ、4年次には各自が興味を持ったテーマで卒業論文を制作します。

学科紹介をスマホで見ると



学科の特色

1 多角的に社会を知るカリキュラム

3つの学修領域から現代社会を読み解く

2 実践力を磨くアクティブラーニング

地域プロジェクト、多彩なゲスト講師などからの能動的学び

3 4年間必修の少人数制ゼミ

入学から卒業までの成長を手厚く支える

4 キャリアデザインで将来像が明確に

実践的な職業体験やキャリアトレーニングが充実

学びのフィールド

◆市民と生活◆◆◆◆◆

家族・福祉・ジェンダー・多文化共生などの観点から、当たり前と感じている暮らしのあり方を問い直し考察します。

◆仕事と産業◆◆◆◆◆

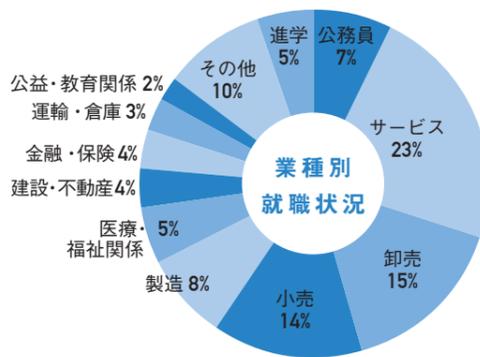
地域と企業、キャリアとライフコースの関係など、「働くこと」「つくること」をめぐる課題を多面的に追求します。

◆地域と文化◆◆◆◆◆

地域活性化の取り組みや文化の多様性について学び、現代メディアの可能性と問題点を探ります。

目指せる未来

公務員、メディア、広告業界、製造業、金融業、サービス業、情報通信業、観光業、中学校・高校の教員、NPO法人・NGOの職員、地域研究機関等における社会調査研究企画・分析担当者など



※2022年実績

取得できる資格

※指定科目の単位修得者が取得できる資格

- 社会調査士
- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（公民）

主な就職先 ※2022年実績

尼崎市役所、芦屋市役所、加西市役所、大阪市役所、高槻市役所、東京都特別区、兵庫県警察本部、(株)パソナグループ、兵庫六甲農業協同組合、兵庫南農業協同組合、マンパワーグループ(株)、(株)ファミリア、エスフーズ(株)、生活協同組合コープこうべ、ニチパン(株)、島津システムソリューションズ(株)、野村不動産ソリューションズ(株)、播州信用金庫、大阪信用金庫、西日本旅客鉄道(株)、ヤマト運輸(株) など

TOPICS

フィールドワークに出かけ、人々の話を聞く

地域の課題に向き合う実践的な学びとして、これまで様々なプロジェクトを実施してきました。例えば、ファッションと文化の関連を考え三宮の街でインタビューし、ZINE(小さな雑誌)を発行。「農林地域でのイベント」を企画したり、養父市での子育ての現状をリサーチしたりと、活動は多岐にわたります。



ZINEを学内書店に展示



丹波篠山市での農業体験



神河町越知川での取材



養父市の親子イベントでの調査

地域のためにできることをやってみる

「たじま未来プロジェクト」▶▶▶▶▶



西宮市のさくらFMで学生による自主制作番組(1時間)が4回にわたって放送され、市の隠れた魅力を発信しました。また、「たじま未来プロジェクト」では兵庫県養父市・豊岡市と連携して、地域の方々へのインタビューを重ね、政策提言、キャッチコピー・ポスター制作、動画やミュージックビデオ制作などを行いました。



さくらFMでの番組制作収録



ミュージックビデオの撮影・制作



地域プロジェクト成果発表会(兵庫県議会)



養父市長ゲスト講義

多角的な視点を身につけ、自分の可能性を広げる

JICA関西を訪問し、青年海外協力隊経験者の講演に参加しました。外国人留学生や技能実習生らが居住する「シェアハウスやどかり」では、国際交流事業、留学生支援活動についての講演を聞き、大阪・鶴橋にあるコリアタウンではフィールドワークも行い、多文化理解を深めました。



「JICA関西」を訪問



SDGsについて学ぶ



「シェアハウスやどかり」を訪問



コリアタウンでのフィールドワーク

社会調査の専門知識を修得する

インタビュー調査やアンケート調査の基礎知識を学び、調査結果を適切に読み取る力を身につけます。講義科目と、実際に調査を行い報告書にまとめる実習科目があります。指定科目を履修すれば、就職活動にも活かせる「社会調査士」の資格を取得することができます。



授業の様子



データを分析中



報告書の作成



報告書が完成

インターンシップなどに参加して、将来について考える

主体的な進路選択を支援するために、学部独自のインターンシップを行っています。NPOなどでのボランティア活動、民間企業や行政機関などでの就業体験をします。キャリア関連の講演会や企業訪問などに参加する機会もあり、体験を通して将来のキャリアについて考えます。両学科ともに実施しています。



ボランティアとして地域イベントに参加



自己PRの練習



インターンシップ活動内容の報告



ゲスト講師をお招きしたグループワーク

社会防災学科

社会貢献マインドを育成し実践する

誰もが安心して暮らせるまちを支える力を養います。防災・減災の基礎を理解するとともに、それを実践するための社会貢献マインドを習得します。地域や行政、NPO、企業、海外のNGOと連携した実習などを通して、学んだ理論を実際に体験し、現場で生きる知識や意識、技術を身につけます。オリジナリティの高い学びは、社会で独自の専門性を発揮します。

学科紹介をスマホで見る



学科の特色

1 実践的に学ぶ 防災と社会貢献

被災地・神戸という
ロケーションを活かす

2 プロの現場で、 専門技術と使命感を学ぶ

消防学校や福祉施設での
実体験が仲間との結束を生む

3 多様なテーマ型実習で 実践力を磨く

国際理解、データ活用、映像作成
など多彩なテーマを少人数クラスで

4 コミュニケーションで 防災意識を高める

防災出前授業やイベントを通して
深く学び、伝える力をつける

学びのフィールド

◆市民の視点◆◆◆◆◆

市民として地域の課題にいかに対応するかを考え、ボランティア活動や地域づくりを学修します。

◆行政の視点◆◆◆◆◆

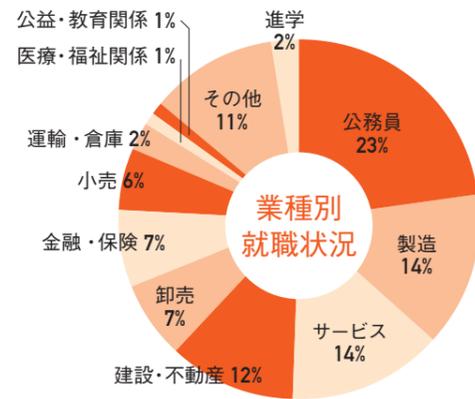
消防や警察等の救援、災害後の復旧・復興における地方自治体や国の対応のあり方について学修します。

◆社会貢献の視点◆◆◆◆◆

国際協力や身近な地域での社会貢献活動をどのように行うべきか、グローバルな視点から学修します。

目指せる未来

4年間で身につける防災・社会貢献の専門的な知識を活かして、様々な進路を目指すことができます。具体的には、警察官・消防官をはじめとする公務員全般、教員、国連やJICAなどの国際機関のほか、一般企業の営業職など、幅広い業界・職種での活躍が可能です。



※2022年実績

取得できる資格

- 防災士^{※2} ● 防火管理者^{※2} ● 防災管理者^{※2}
- 社会貢献活動支援士^{※2}
- 中学校教諭一種免許状（社会）^{※1}
- 高等学校教諭一種免許状（公民）^{※1}

※1 指定科目の単位修得者が取得できる資格
※2 対象科目の単位を修得し、認定試験に合格すると取得できる資格

主な就職先 ^{※2022年実績}

神戸市消防局、西宮市消防局、姫路市消防局、加古川市消防本部、豊中市消防局、兵庫県警察本部、大阪府警察本部、京都府警察本部、徳島県警察本部、高知県警察本部、広島県庁、彦根市役所、市川町役場、TOA（株）、エア・ウォーター防災（株）、ユニ・チャームプロダクツ（株）、総合警備保障（株）、セコム（株）、（株）みなと銀行、尼崎信用金庫、青山商事（株）、近畿日本鉄道（株）など

TOPICS

1年次生から実践的に防災と社会貢献の基礎を学ぶ

1年次に受講する「入門ゼミナール」では、応急手当の知識を学ぶ市民救命士講習（神戸市発行の修了証を取得）や防災や社会貢献活動のリーダーの素養を身につけるための消防学校研修などを行います。地元や母校に向いて調査した内容をゼミごとに発表し、各ゼミの代表者はスーパープレゼンテーションコンテストに出場します。



インストラクター資格を持つ学生による市民救命士講習



消防学校研修のプレトレーニングを先輩がサポート



消防学校研修での放水体験



スーパープレゼンテーションコンテスト

豊富な実習プログラムを通して広い視野で防災を身につける

「防災実習Ⅰ」では、阪神・淡路大震災の記録や展示から教訓を学び、震災当時や日々の災害報道の現場に触れます。「防災実習Ⅱ」では水上消防署、水上警察署、自衛隊など、防災の「公助」を担う組織で実際に機材や船、車両などに触れ、現場の声を聞きます。ほかにも「救命処置実習」「災害救助実習」などより実践的な授業を設定しています。



「人と防災未来センター」で震災当時を知る



「防災実習Ⅱ」水上消防署で資機材体験



「福むらの火」の広村堤防に学ぶ（和歌山県）



「災害救助実習」でガレキ下からの救助訓練

社会貢献とボランティアを学びながら実践する

「社会貢献」とは非営利の公益活動のことですが、最近では社会の課題を解決するビジネスなど幅広くとらえられ、ますます重要な考え方になっています。授業の枠を超えて、災害ボランティアや神戸マラソンでのAEDボランティアなど、様々な活動に自主的に参加する学生を応援しています。



「社会貢献実習」で絵をウクライナの小学校に贈る



災害ボランティア（西日本豪雨 岡山県）



神戸マラソンでAEDボランティア



駅前で能登半島地震募金活動

開発途上国での海外実習で社会貢献を考える

カンボジア・ネパール・インドネシアなどを訪問し、現地の子どもたちや大学生との交流、被災地視察を実施。例えばカンボジアではNGOが運営する村の図書館を訪問し、教育支援や子どもたちとの交流を行います。各地の諸問題に触れ、持続可能でより良い世界を目指すための感性を養います。



カンボジア 孤児院の子どもと折り紙交流



カンボジア 書道を通じて日本文化を伝える



インドネシア 現地大学生とムラビ火山被災地見学



インドネシア 伝統料理の作り方体験

個性豊かなゼミから自分の興味に合わせて選ぶ

防災教材開発「あっこちゃんのはさみ」▶▶▶▶▶



ゼミでは、多様な活動をしています。例えば、現地調査と聞き取りから、過去の災害の教訓を生かすことをリアルに考える安富ゼミ、SDGsの「住み続けられるまちづくり」を大学周辺で実践する江田ゼミ、津波避難の調査に取り組む中田ゼミ、震災の体験と教訓の伝承を通して防災教育に取り組む船木ゼミなどがあります。



水害にあった高齢者施設で防災訓練（岩手県岩手町安富ゼミ）



地域でイベントを主催（神戸市中央区 江田ゼミ）



津波避難シミュレーション（徳島県 中田ゼミ）



小学校での防災出前授業（兵庫県姫路市 船木ゼミ）

